北海道医師会館９階理事会室

第15回常任理事会

日　時　令和７年10月７日（火）18：00～18：39
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、水谷・山科・伊藤・青木・荒木・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件
（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

第２号　第５回理事会［10月11日（土）・Web併用］の議案に関する件（菅田常任理事）

提出議案について決定。

報告事項

１．医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会［９月27日（土）］について（寺本常任理事）

北海道医療勤務環境改善支援センター医業経営・医療労務管理アドバイザー・藤田晃氏から「医療機関におけるカスハラの現状と対応」と題した講演の後、シンポジウム「カスハラを防ぐための組織対応」があり、KKR札幌医療センター ・加藤正仁先生のほか、訪問看護ステーション、北海道の立場からの話題提供と意見交換を行った。出席者はWeb出席者を含め99名であった。

２．医学生・若手医師キャリアデザインセミナー［10月３日（金）］について（寺本常任理事）

当会勤務医部会若手医師専門委員会の企画・運営により医学生や若手医師向けのセミナーを札幌医科大学記念ホールでWeb併用開催した。札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 ・小山雅之講師から「医療DXの最前線」、北海道大学大学院医学研究院医療政策評価学・阿部計大講師から「武見国際保健プログラムでのハーバード大学への留学」、旭川医科大学復職・子育て・介護支援センター・菅野恭子副センター長から「子育てとの両立」、小職から「医師会事業」について講演した後、意見交換を行った。出席者はWeb出席者を含めて51名であった。

３．第160回日本医師会臨時代議員会［10月４日（土）・Web］について（鈴木副会長ほか）

釜蒭敏・参議院議員の日本医師会副会長の辞任および福田稠・日本医師会理事の辞任に伴う補選のため開催された。松本会長の挨拶後、第１号議案「日本医師会副会長補欠選任・選定の件」が上程され、福田稠候補（熊本県医師会長）が選任・選定された。続いて第２号議案「日本医師会理事選任の件」が上程され、蓮澤浩明候補（福岡県医師会長）が理事に選任された。いずれも定数どおりの立候補者のため、Web形式で実施された。

４．第105回北海道医学大会総会・令和７年度北海道医師会賞贈呈式［10月４日（土）］について
（村上常任理事）

西川祐司会頭（旭川医科大学学長）のもと、贈呈式では北海道医師会賞ならびに北海道知事賞として６名が受賞された。その後、各科トピックス４題の講演が行われ、続いて、独立行政法人国立高等専門学校機構旭川工業高等専門学校・矢久保考介校長より「複雑系の科学」をテーマに講演が行われた。参加者は82名であった。

５．自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」［10月７日（火）］について（荒木常任理事）

松家会長ほか８名の役員が出席し、自由民主党北海道支部連合会に対して11項目の医療政策について要望した。11項目のうち、医療機関の経営逼迫とその支援、医療DXの推進、メディカルウイング運航事業への支援が特に重要な要望事項であることを小職から説明し、意見交換を行った。議員からは医療DX推進のための専門家の配置やメディカルウイングの丘珠空港常駐にかかる費用等に関する質問があった。

６．外部各委員会報告

⑴　第２回受動喫煙防止対策専門部会［９月22日（月）・Web］について（青木常任理事）

令和２年３月に「北海道受動喫煙防止条例」が制定され、条例の附則に施行後５年ごとに社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な措置を講ずることとされていることから、意見交換を行った。意見交換の結果、現時点での見直しは行わず、国の方針を見極め、必要に応じて改定していくこととした。

７．中央情勢報告

第８回日本医師会医療政策会議［11月６日（木）］の議題「診療報酬改定にあたり日本医師会が主張すべき提言」について（荒木常任理事）

第８回日本医師会医療政策会議の議題に対して意見交換を行った。公費負担の見直しや消費税財源の

再考、医療DX推進に伴う人員配置基準の見直しなどの意見が出された。

第５回理事会

日　時　令和７年10月11日（土）16：00～17：12
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、水谷・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、坂本・吉田・稲葉各理事、梶・松岡両監事、中川顧問、大原議長、滝山副議長、笹本参与
（Web参加者）山科・菅田両常任理事、小西（宏）・大本・小西（勝）・柴田・西條各理事、阿久津監事、深澤参与
（事務局：三瓶事務局長ほか15名）

１．開　　会
２．会長挨拶
３．報告事項

⑴　第160回日本医師会臨時代議員会［10月４日（土）・Web］について（鈴木副会長ほか）

釜萢敏・参議院議員の日本医師会副会長の辞任および福田稠・日本医師会理事の辞任に伴う補選のため開催された。松本会長の挨拶後、第１号議案「日本医師会副会長補欠選任・選定の件」が上程され、福田稠候補（熊本県医師会長）が選任・選定された。続いて第２号議案「日本医師会理事選任の件」が上程され、蓮澤浩明候補（福岡県医師会長）が理事に選任された。いずれも定数どおりの立候補者のため、Web形式で実施された。

⑵　日医理事会報告（松家会長）

９月の理事会は、日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考の件等の協議後、中医協、社会保障審議会介護保険部会介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会、第４回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑶　日医各委員会報告

１）社会保険診療報酬検討委員会［７月23日（水）・９月10日（水）・Web］について（伊藤常任理事）

会長諮問の令和６年度診療報酬改定の評価については、想定していた以上に厳しい改定ではあったが、ベースアップ評価料が設けられたことについては一定の評価をした上で、当初の想像をはるかに超えた物価・賃金の上昇により病院・診療所ともに厳しい経営状況に追い込まれているとした。続いて、次期診療報酬改定に対する要望書の取りまとめを行い、最重点要望項目として、改定財源の確保、初再診料や入院基本料の引き上げなど14項目を挙げ、各項目に関する具体的な算定要件や点数の見直し案などを提示した。

２）母子保健検討委員会第２回産後ケアWG［８月27日（水）・Web］について（寺本常任理事）

会長諮問に対する答申に盛り込むべき内容について議論した。本WGでは「妊産婦の心と体の健康」をテーマに、妊産婦健診から産後ケアの支援について取りまとめることとした。

３）男女共同参画委員会［８月29日（金）・Web］について（寺本常任理事）

今年度、本委員会が実施した「男女共同参画に関する男性医師の意識調査」については、平成26年に実施した同調査と比較形式で報告が行われた。その中の自由記載欄の内容に関して、前回調査では育児体験や家庭への参画に関する記述が多く見られたが、今回は公平性の捉え方や人員不足など、医療現場における構造的課題を指摘する意見が多く寄せられた。続いて、会長諮問に対する答申について、活発な意見交換を行った。

４）地域医療対策委員会［９月３日（水）・Web併用］について（青木常任理事）

会長諮問に対する答申を取りまとめるため、大都市型、地方都市型、過疎地域型の３つのWGを設置し検討を進め、報告書を提出することとなった。WGの議論を踏まえ、今回は大都市型WGから報告書の概要について、地方都市型WGからは報告書案の目次について説明があった後、意見交換を行った。

５）全国医師マッチング支援委員会（プロジェクト）［９月４日（木）・Web］について（長谷部常任理事）

医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業説明会等の報告の後、日医ドクターバンクの広報戦略について検討した。周知・宣伝方法として「キャンディ拡大連鎖スキーム」を用いて登録内容の充実を図り、「求職・求人はまず日医へ」というイメージの定着を目指す。日医ドクターバンクの強みは、医師にとって信頼性が高く、医療機関は無償で利用できる点であり、両者を結ぶ強力なネットワークの構築を進め、これらを前面に打ち出した広報戦略を展開していくことを確認した。なお、当委員会は予定していた期間を延長し、今後も具体的な検討を継続していくこととなった。

６）医療政策会議［９月５日（金）・Web併用］について（松家会長）

「物価・賃金高騰時における補助金を含め

た診療報酬改定のあり方」をテーマに、京都府医師会会長・松井道宣委員から次期診療報酬改定への対応や少子高齢化などによる社会的構造の変化への対応策などについて、愛媛県医師会会長・村上博委員からは日本の医療の課題や愛媛県内における医療機関への支援の取組状況などについて説明があった後、意見交換を行った。

7）学校保健委員会［9月10日（水)］について（荒木常任理事）

中央情勢報告として、文部科学省に設置された「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」について、設立の趣旨や目的、検討事項等の説明後、学校健診WGとメンタルヘルスWGでの検討内容についての報告があった。

8）診療所における新興感染症対策研修検討委員会［9月10日（水)・Web］について（髙橋常任理事）

本委員会は、診療所における新興感染症への対応力を高めるための研修の企画・実施方法を検討している。今回は、本年10月13日に開催する「診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修」当日のスケジュールや演習の進行等について検討・確認した。また、公開中の事前ｅラーニングでのコンテンツについて、各委員より報告があった。

9）有床診療所委員会［9月18日（木)・Web］について（鈴木副会長）

日医・松岡常任理事より、医療提供体制の現状と目指すべき方向性や新たな地域医療構想の概要に対する日本医師会の基本的な考え方を示し、日本医師会として回復期機能から包括期機能へ定義の変更を提案している等の説明があった。

10）健康食品安全対策委員会［9月25日（木)・Web］について（滝山副議長）

厚生労働省より、紅麹関連製品による健康被害を踏まえた食品衛生法上の対応について情報提供があった後、日本医師会および東京都健康安全研究センターで作成されている健康食品に関する各種啓発資料について協議した。

11）病院委員会［10月1日（水)・Web］について（佐古副会長）

新たな地域医療構想のキーワードを「均てん化と集約化」として、区域で提供することを検討すべき医療、人口規模を踏まえた医療機関機能の考え方および会長諮問について意見交換を行った。

12）産業保健委員会［10月9日（木)・Web］について（村上常任理事）

厚生労働省より中央情勢報告および治療と仕事の両立支援に係る指針策定について解説後、日本医師会より「1社目の壁に関する研修」のスキーム案と非会員の産業医に関する課題や組織力強化について説明があり、意見交換を行った。

4．承認事項

⑴「職員就業規則」および「職員育児・介護休業等規程」の一部改正について（長谷部常任理事）

育児・介護休業法の改正・施行に伴い、当会職員就業規則および職員育児・介護休業等規程の一部を改正、本年10月1日より施行することを承認決定。

⑵ 外部各委員会等委員の推薦について（長谷部常任理事）

LTC（生命を脅かす病気）等のこどもの支援に係る協議会に末岡常任理事を推薦することを承認決定。

5．協議事項

第1号 令和7年度北海道医師会表彰に関する件（目黒常任理事）

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員208名、当会役員・代議員3名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員455名、国公立等医療施設従業員103名、医師会職員8名の合計777名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者と決定。

第2号 理事提案事項

特になし。

第3号 その他

特になし。

6．道総医協関連事項（藤原副会長）

令和7年度第4回理事会（令和7年8月23日）報告以降に開催された会議について報告した。

閉　会

第16回常任理事会

日　時　令和7年10月28日（火）18：40～19：55
場　所　北海道医師会館・9階理事会室
出席者　松家会長、佐古・鈴木両副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・寺本・村上・末岡各常任理事、阿久津・松岡両監事
（Web参加者）菅田常任理事、梶監事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定および更新に関する件（目黒常任理事）

新規申請者4名を指定医師とすることと決定。また、10月末日をもって指定期間満了となる対象者

243名のうち９名の指定辞退、３名の更新保留を除いた231名を審議した結果、再指定することと決定。

第２号　母体保護法指定医師研修機関の更新に関する件（目黒常任理事）

現指定医師研修機関のうち指定要件を満たした40件を次期研修機関として指定することとし、指定資格者数が未充足の１件は、新規申請承認まで更新保留することと決定。

第３号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者12名と更新申請者109名を承認し、日医へ申請することと決定。

第４号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした新規申請者１名と更新申請者８名を承認し、日医へ申請することと決定。

第５号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第６号　第２回郡市医師会長協議会［11月９日（日）・Web併用］の議題に関する件（目黒常任理事）

提出議題について決定。

第７号　その他

⑴　11・12月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．報道機関各社との勉強会［10月６日（月）］について（橋本常任理事）

報道機関各社と意見・情報交換を通じて、医療への見識や医師会への理解を深めることを目的に開催した。報道機関各社からの出席者は６社12名で、当会より医療機関の経営状況について話題提供し、意見交換を行った。

２．都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会［10月８日（水）・Web開催］について（目黒常任理事）

日医・城守常任理事から「継続的な組織強化に向けて」、日医・笹本常任理事から「MAMISの活用を通じた組織強化」についての説明のほか、神奈川・静岡・宮崎各県医師会よりそれぞれ活動報告があった。協議では会費減免期間終了後も継続して会員となってもらうための施策等について意見交換が行われた。

３．地域医療に関わる地域別意見交換会［10月９日（木）・名寄市］について（青木常任理事）

地域医療に関わる諸問題について各地の状況を把握するため、松家会長ほか６名の当会役員と上川北部医師会役員および会員出席のもと開催した。当会から「かかりつけ医機能報告制度」について話題提供を行った後、上川北部医師会より「上川北部二次医療圏における医療提供体制の現状」「上川北部医療圏における士別市立病院の現状と今後の方向性」「上川北部での在宅医療の役割」についてそれぞれ説明があり意見交換を行った。名寄市、士別市ならびに北海道関係者も傍聴し、出席者は43名であった。

４．HPVワクチン研修会［10月９日（木）］について（寺本常任理事）

例年開催している本研修会について、今年度は、北海道教育委員会主催の「初任段階養護教諭等研修（３年次）」にて、採用３年目の養護教諭を対象に「ワクチンで防ぐことのできる感染症やがん」をテーマに講演を行った。参加者は87名であった。引き続き、道教委と連携のうえ、ワクチンによる感染症やがんの予防について普及啓発に取り組んでいく。

５．医政講演会［10月12日（日）・Web併用］について（荒木常任理事）

一橋大学大学院経営管理研究科・荒井耕教授を招聘し「医療機関の経営改善に向けた経営管理の重要性」をテーマに講演を行った。参加者からはAIの正確性やAI問診等のICTシステム導入によるコストパフォーマンス等に関する質問があった。参加者は会場・WEB合わせて50名であった。

６．医療政策等検討委員会［10月12日（日）・Web併用］について（荒木常任理事）

医政講演会に引き続き、一橋大学大学院経営管理研究科・荒井耕教授同席のもと開催した。各委員より、医師確保・医師偏在や医療従事者の確保問題、医療機関の経営逼迫や医療機能分化等地域で抱える諸課題について報告があり、意見交換を行った。

７．診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修［10月13日（月・祝）・日医会館］について（末岡常任理事）

日本医師会の主催で、各都道府県において新興感染症対策研修を企画・実施するリーダーの育成を目的に開催された。ｅラーニングによる「新興感染症概論」、「PPE着脱・手指衛生・検体採取」等について事前学習があった後、研修当日は、PPE着脱・手指衛生・検体採取の実技、ゾーニングの講義・机上演習が行われた。道内では12月から２月にかけて当会・北海道・札幌医科大学の共催により、全道９か所で感染症対策研修を開催予定。

８．日医女性医師支援・ドクターバンク連携　北海道・東北ブロック会議［10月18日（土）・仙台市］について（寺本常任理事）

今年度は宮城県医師会の担当で開催された。はじめに女性医師支援センターから、11月１日付けで同センターを「ドクターサポートセンター」に、日本医師会女性医師バンクを「日本医師会ドクターバンク」に名称変更し、性別を問わずすべての医師を対象とした就業支援を展開するとともに、医師不足地域への医療従事者のマッチング強化に取り組むことについて説明があり、その後、当該センターの事業概要および実績等について報告が行われた。続いて、各道県医師会より、医師バンクおよび女性医師

支援に関する取組状況の報告があり、活発な意見交換が行われた。当会からは、医師キャリアサポート相談窓口における各事業の実績や相談事例ならびに勤務医や若手医師等を対象とした各種研修会の実施状況について報告した。次回は、福島県医師会の担当で開催予定。

9．第２回勤務医部会運営委員会・第３回若手医師専門委員会［10月19日（日）］について

（寺本常任理事）

勤務医部会の部会長には小樽市医師会・和田卓郎部会員を、若手医師専門委員会の委員長には北見医師会・橋口仁喜委員を、それぞれ引き続き会長指名したことを小職より報告した後、５月に実施した「地域医療の現況調査」の集計結果の概要を説明し、当該調査報告書の執筆者の選定や勤務医部会全体会議の内容等について協議を行った。

10. 北海道地域医療構想調整会議協議会（通算６回）［10月19日（日）］について（荒木常任理事）

都道府県単位の地域医療構想調整会議協議会として北海道との共催によりWeb併用で開催した。北海道から新たな地域医療構想に関するとりまとめの概要、北海道および構想区域別の人口推計の推移、入院患者数・入院受療率の低下、構想策定の具体的なスケジュール等について説明があり、９月から新たに就任した藤森研司氏（北海道国民健康保険団体連合会／東北大学名誉教授）を含む地域医療アドバイザー５名の紹介があった。続いて、地域医療構想における各区域の取組の成果や課題、今後の対応について各圏域から報告があった後、意見交換を行った。出席者は各地域医療構想調整会議議長や関係郡市医師会役員、保健所長等117名であった。

11. 第２回都道府県医師会長会議［10月21日（火）・日医会館］について（松家会長）

「有料職業紹介事業」をテーマに、Ｅグループで議論した後、同テーマに対する日医への質問の回答が行われた。本テーマについては直近の日本医師会代議員会でも多くの質問や要望があり、日本医師会と四病院団体協議会の懇談会によるワーキンググループを立ち上げるなど、高額手数料への対応等について協議をしていることや、厚生労働省に不適切な事例の規制強化や適切な対応を要請し、さらに都道府県の実態を把握するために職業紹介事業等に関する現況調査も実施していることが説明された。最後に、日本医師会から「令和７年診療所の緊急経営調査」結果について報告があった。

12. 第46回産業保健活動推進全国会議［10月23日（木）・Web併用］について（村上常任理事）

厚生労働省による中央情勢報告の後、山口・高岡・那覇の地域産業保健センターから、産業保健総合支援事業に関する活動事例報告があった。また「高齢労働者の労災対策」をテーマとしたシンポジウムならびに産業医需要供給実態調査事業に関する報告の後、事前に寄せられた質問について意見交換が行われた。

13. 外部各委員会報告

⑴ 第１回道央ドクターヘリ運航調整委員会［９月30日（火）］について（目黒常任理事）

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学救急医学講座教授・成松英智委員を選任後、昨年度運航実績（速報値）および北海道ドクターヘリ安全管理委員会について報告があった。また、昨年度の運航実績報告書の作成について協議した。

⑵ 第２回北海道犯罪被害者等支援施策推進懇談会［10月７日（火）］について（目黒常任理事）

令和３年３月に改定され５年を目安に見直しを実施することとなっている、第４次北海道犯罪被害者等支援基本計画について、これまでの犯罪被害者等支援施策の推進状況の点検および有識者・道民・市町村等から幅広く意見を聴取し進めることとされており、今後の見直しの進め方およびスケジュールについて説明があった。犯罪被害者等に対する様々な取り組みがなされていることを引き続き道民へ広く周知すべきであるとの意見があった。

⑶ 第１回北海道障がい者施策推進審議会医療的ケア児支援部会［10月21日（火）］について

（末岡常任理事）

地域生活支援体制の検討を行うための基礎資料とすることを目的に６月に実施した令和７年度医療的ケア児に関する状況調査の結果の概要について報告があった後、医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置および医療的ケア児等コーディネーターの配置について協議した。

⑷ 北海道在宅医療推進支援センター第１回運営協議会［10月22日（水）・Web会議］について

（伊藤常任理事）

今年度の実施事業として、在宅医療圏等における現状・課題分析のため、地域資源の整理や医療提供状況の分析を行うこと、また、道内の病院および有床診療所を対象とした在宅医療に関する調査や地域における退院支援の実態調査、在宅医療に必要な連携を担う拠点に関するヒアリング調査を実施することなどの説明があった。あわせて、地域における在宅医療・介護連携の体制を構築するための各種支援（医療アドバイザーの派遣、在宅医療に係る先進事例集の作成、各種研修会の開催等）を行う予定であることが示された。

道総医協関連事項（佐古副会長）

１．第４回地域医療専門委員会［10月23日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

診療所承継・開業支援事業費補助金の目的や対象

地域、補助基準額等について報告があった後、北海道医療計画（令和６年度～令和11年度）の推進状況及び評価等、令和６年度北海道地域医療介護総合確保基金事業（医療分）の事後評価調書について協議した。

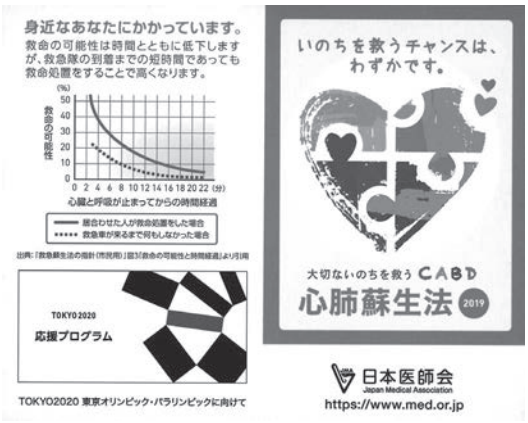
お知らせ 日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』について

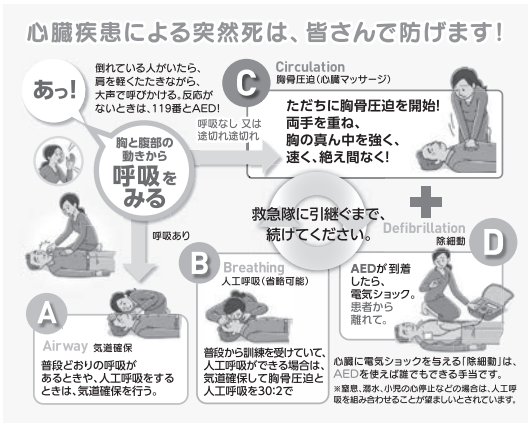
◇救急医療部◇

日本医師会が救急蘇生法の普及啓発のため作成・配布しております『心肺蘇生法CAB+Dカード』(二つ折り名刺サイズ）につきまして、地域住民（患者等）への配布や、各種研修会でご活用いただきたくご案内申し上げます。

ご希望の方は下記宛に必要部数をご連絡ください。(送料無料)

連絡先：北海道医師会事業第三課
TEL　011-231-1726　　FAX　011-210-4514　　E-mail　3ka@m.doui.jp





日本医師会公式YouTubeチャンネルの登録ならびに日本医師会LINE公式アカウントの友だち追加へのご協力のお願い

日本医師会では公式YouTubeチャンネルやLINE公式アカウントを通じて、さまざまな情報を提供しています。それらの情報をご活用いただくため、ぜひ、YouTubeのチャンネル登録ならびにLINEへの友だち追加を、下記の二次元バーコードからお願いいたします。

●日本医師会 公式YouTube チャンネル

●日本医師会 LINE公式 アカウント

問い合わせ先：日本医師会広報課　E-mail：kouhou@po.med.or.jp